

従順

淑女は

ふたなり

ド痴女





邪魔が多いな!

アッ!

アッ!

アッ!

アッ!

アッ!

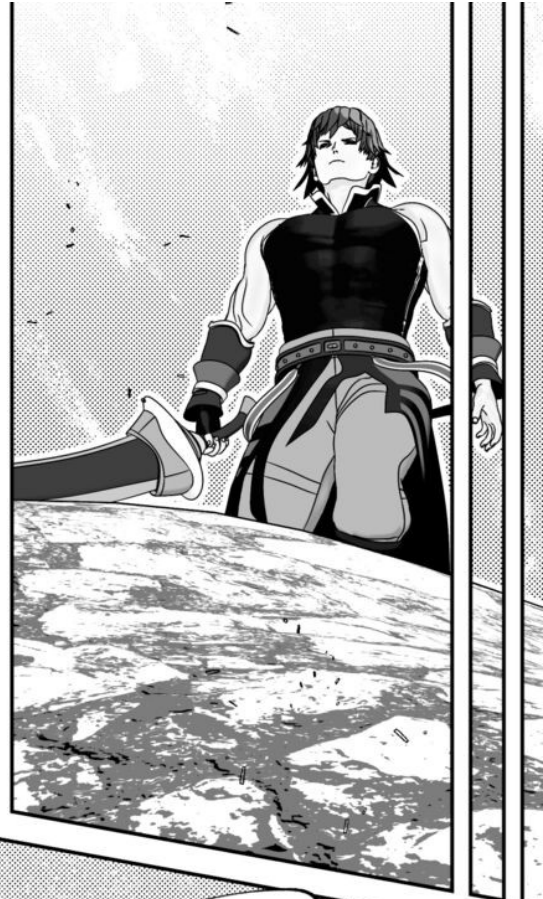
アッ!

アッ!

アッ!



ようやく街が見えたぞ



はい、ユーガス様が守ってくださるから…私は平気です

ああ、ロフィーネ、体は大丈夫か？

どうやら一息つけそうですね

貴方こそ無理なさらないでください



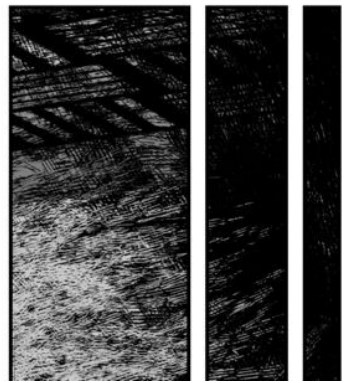
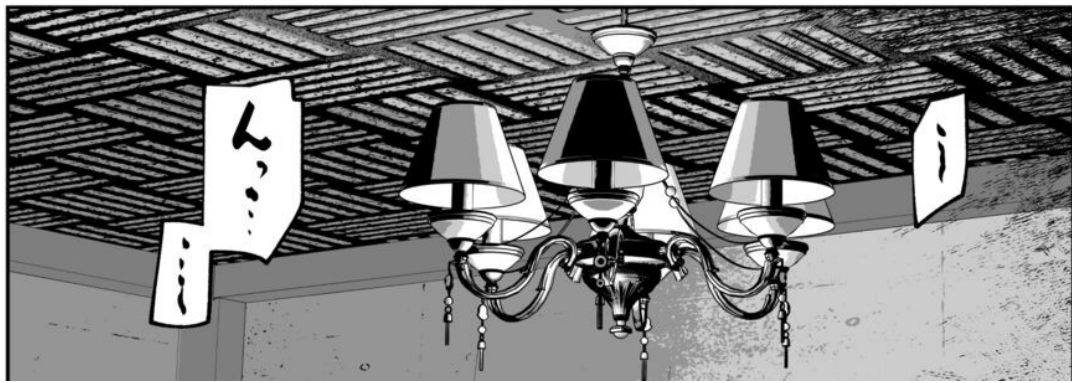
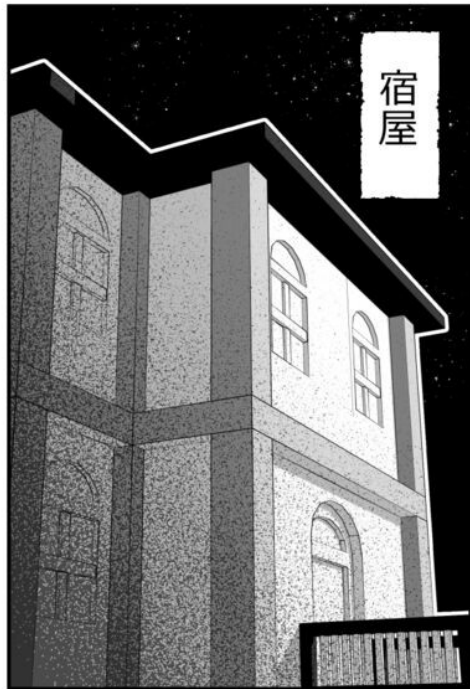
この程度造作もないさ

もちろん君が魔法でサポートしてくれてるからだ

わ、私の力なんて微々たるものです…

これから先お役に立てるかどうか…

謙遜するな



ちゅむ♡ちゅる♡

ああ…
ユーガス様

今日もとても
素敵でした

凛々しい
横顔

ハ?

逞しい
肉体

勇ましい
掛け声

フツフツ

くり♡
くり♡

猛々しい
剣さばき

ハ♡

雄々しい
佇まい…

戦っているお姿、
間近で拝見していると…

ハ♡

ん…





あうっ

ピクン

それは…ちよっと
集中力を欠いてるん
じゃないか…



私の
お金玉の方が
グツグツと…

煮えたぎって
しまいます…♡



ハア

こうやって
責められたら
全くの無抵抗…

ピクン

ふっ…

ハア

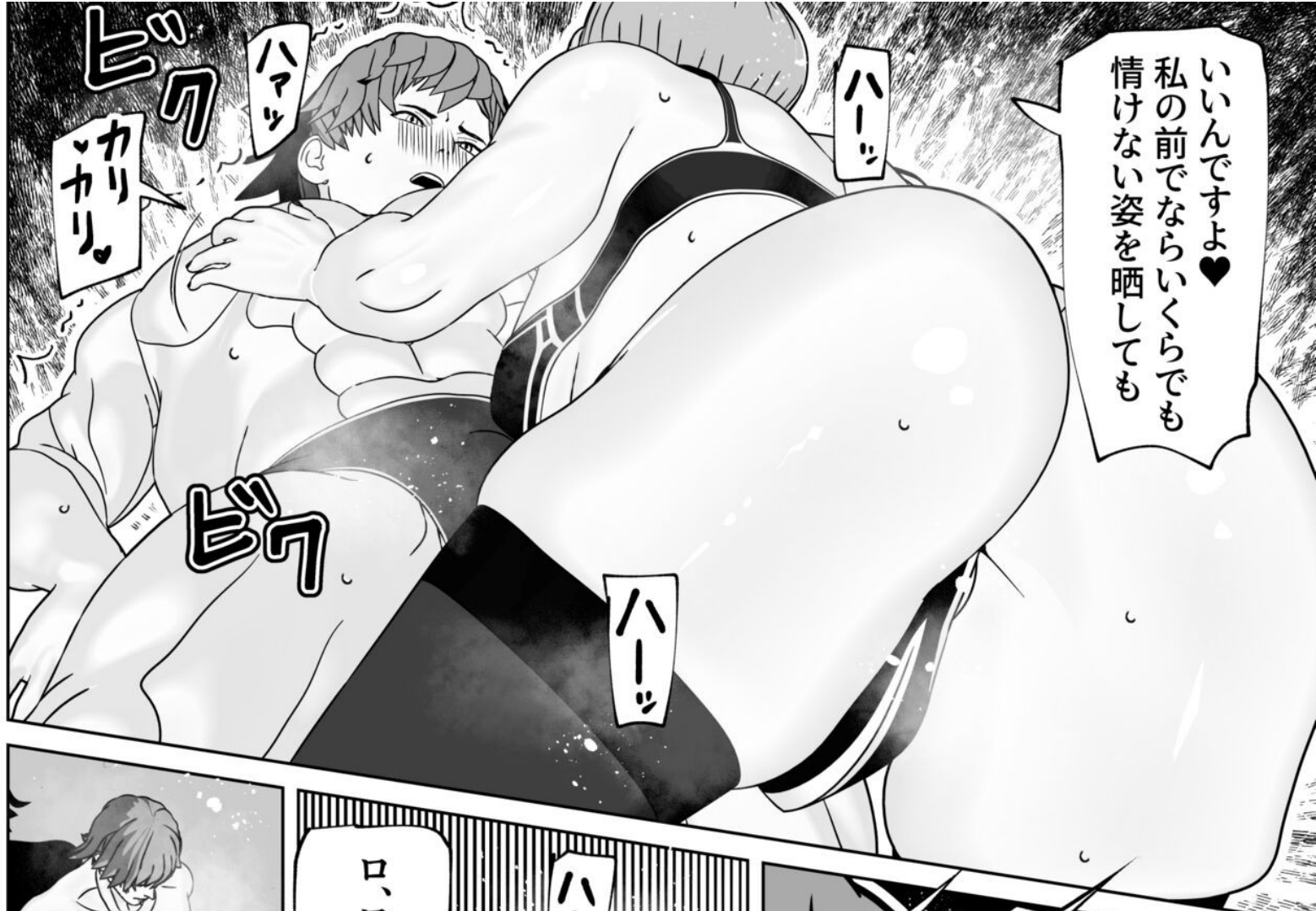
ピクン



んっ

ふふ…
しかしそんな
貴方様も…

スリスリ
スリ♡



いいんですよ♥
私の前でならいくらでも
情けない姿を晒しても



ロ、ロフィーネ……!



甘えて……

喘いで……

こちらの方
窮屈そうですね……
今解放して
差し上げます

ああ芳しい
芳しい…♡

スィスィスィ

ユーガス様の
香りを嗅ぐだけで
脳が蕩けます…♡

そして
触られることを
期待して

ヒクヒクと脈動する
おちんぼ様…
なんと愛らしい♡

ですが私は
知っているのです…

貴方様が本当に
期待しているのは
雄穴の方だと…

そんな…
ことは…

ふふ…
凶星ですか？

私めに全て
お任せ
ください…♡

グン

キキキキ

ハ

ああ…ユーガス様が
こんな恥ずかしい格好を
してしまうだなんて…♡

あ、あまり…
言わないでくれ…

ハ

ハ

カ

ハ

あらあら
簡単に指が入って
しまいましたよ…

それも
2本♥

やはり欲しがって
いたのですね♥

ハ
ビク

グ
グ
グ

ああ

く
く

ネチ
ネチ

ビク

普段はあんなに
男らしいのに…

ここを弄ったら
途端に
女の子のよう…♥

ふふ…段々
いやらしい声が
出てきました…♥

さあさあみつともなく
メス化してください…♥

ハ

ハ

ビク

ハ

ビク

う
あ

ハ

フネ
フネ

ハ
ハ
ハ

ハ



ふふふ…こっちのほうも
穴を刺激する度
跳ね回って
アピールしてますね…♡

僕も
忘れないで！
って…♡

大丈夫
忘れたり
しません♡

ピンク
ピンク

ハア

ハア



オスの部分と
メスの部分

カバ

同時に責めて
あげます…♡

ぐぼ
ぐぼ

ぐちゅ
ぐちゅ

うが
うが

ハア

ハア



ロフィーネ…君も随分
股間が苦しそうだ…

俺に見せて
くれないか…

はい…私めの愚根で
よろしければ…



ああ…
なりません
なりません…♡

貴方様の
お手を煩わせる
必要はございません…♡

さすが
良いモノを
もっているな…

♡

私めの劣情など
自らの手で
コキ捨ててしまえば
いいのです…!

ハ〜♡
ハマ♡

スリッスリ

キ〜♡

そ、そんな事
言うな…
君のモノは
俺が鎮めたい…

ああ…ユーガス様…
嘆かわしいことです…♡

貴方様が私の
おちんぽなんぞに
媚びるだなんて…♡

ハ〜

ハ〜

ハ〜



普段の
精悍なお顔は
どこへやら...

美味しそうに雌茎を
しゃぶる淫らな表情...♥

私しか知らない
貴方様の痴態...♥

かポッ
かポッ



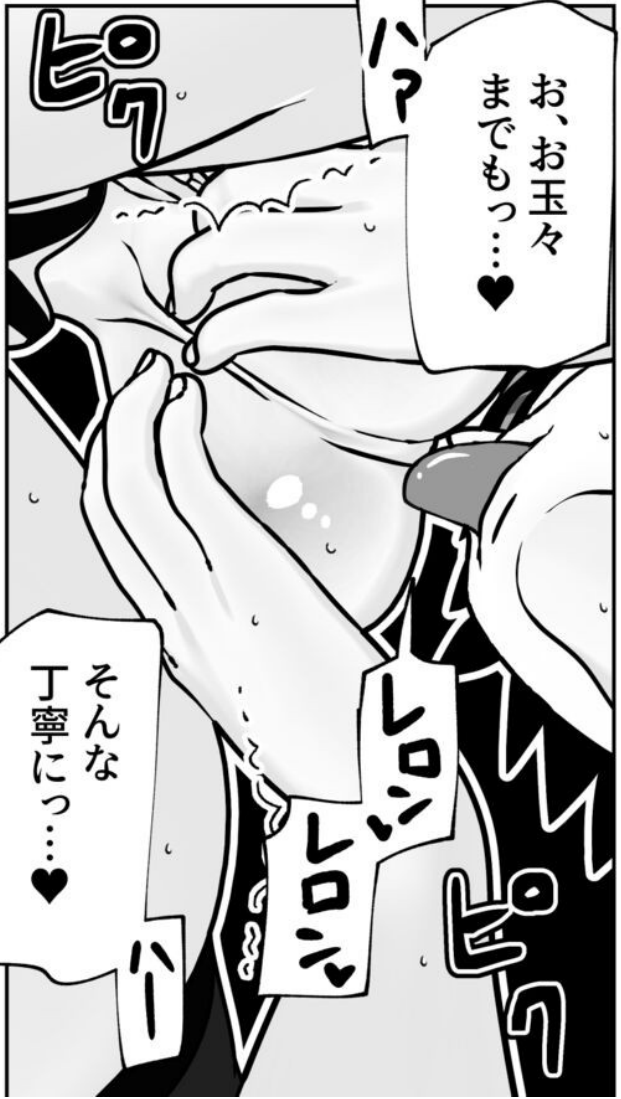
もうっ...
辛坊なりません♥



もうっ...♥

もうっ...♥

チュルル
ピク



お、お玉々
までもっ...♥

そんな
丁寧につ...♥

ピク
ハ



おあつ
イクっ♡

ビュッ
ビュッ
♡

ああ：私めの種汁で
ユーガス様を汚して
しまいました…

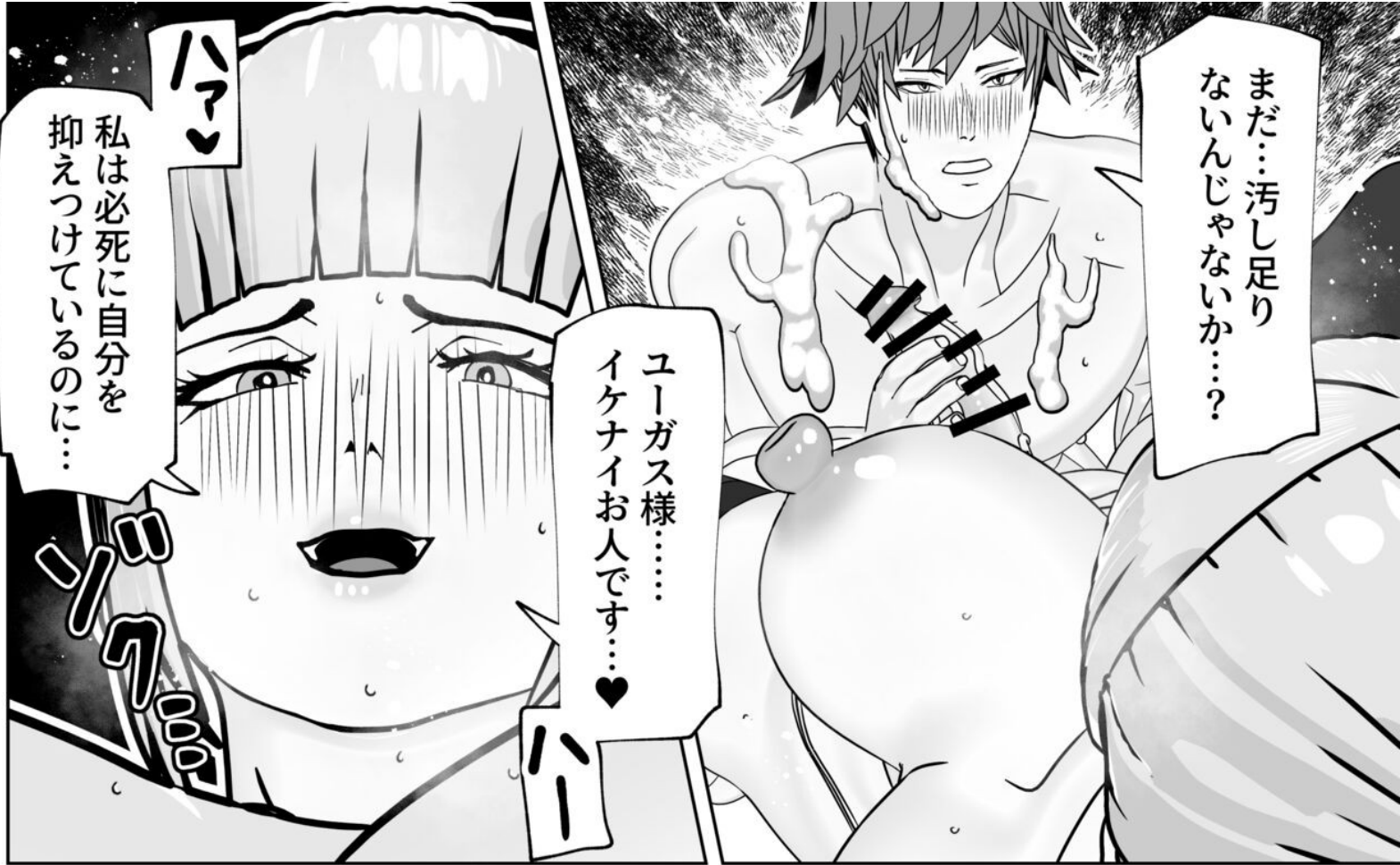
トッ
ハッ
ロ

トッ
ハッ
ロ

ハッ
ハッ
ハッ

ハッ
ハッ
ハッ

ハッ



まだ…汚し足りないんじゃないか…？

ユーガス様……
イケナイお人です…♡

私は必死に自分を抑えているのに…

ハア

クククク

ハ



ええ、足りませんとも…
こんなものでは

来てくれ…
ロフィーネ…

ユーガス様っ…♡

キミ

ハア

グイ

ハ

ハア

私のっ♡

淫乱すぎますっ…♡

憧れのっ♡

ハ?

ユーガス様がつ♡

おお♡

自ら尻穴を差し出すなどっ♡

リキョ

あつてはなりません♡

あつてはなりませんっ♡

リキョ

ハ

ハ

ズラズラ♡





ただでさえ…
日々の戦いで貴方様に
負担をかけている
というのにつ

こんなつこんな…
私めなどの肉欲をつ

発散させるため貴方様の
体を使うだなんてっ♡

浅ましいっ…
愚かしいっ…♡

うぐっ♡

ハー

ハァー
ハァー
ハァー

ハァー

ハァー
ハァー

ハァー
ハァー

あっ

あ

ハー

ん…♡

ハー

ハー

ハー

ああっもうっ
そんなお顔をして…

私をあまり興奮
させない
てくださいい…♡

良い…良いっ…♡
最高の締めまりっ♡

馬鹿みたいに腰を
振ってしまいますっ♡

ハ
ー

ハ
ー

く
り

ん
っ♡

こ
り

あ
っ♡

ハ
ッ

ハ
ー

ハ
ッ
ア
ッ
オ
ッ

ハ
ッ
ハ
ッ

ハ
ッ
ハ
ッ

ハ
ー

ア
ッ



貴方様が
悪いのですっ
私を焚き
付けるからっ ♡

ダメですっ
止まりませんっ ♡

うわ、
お嬢 ♡

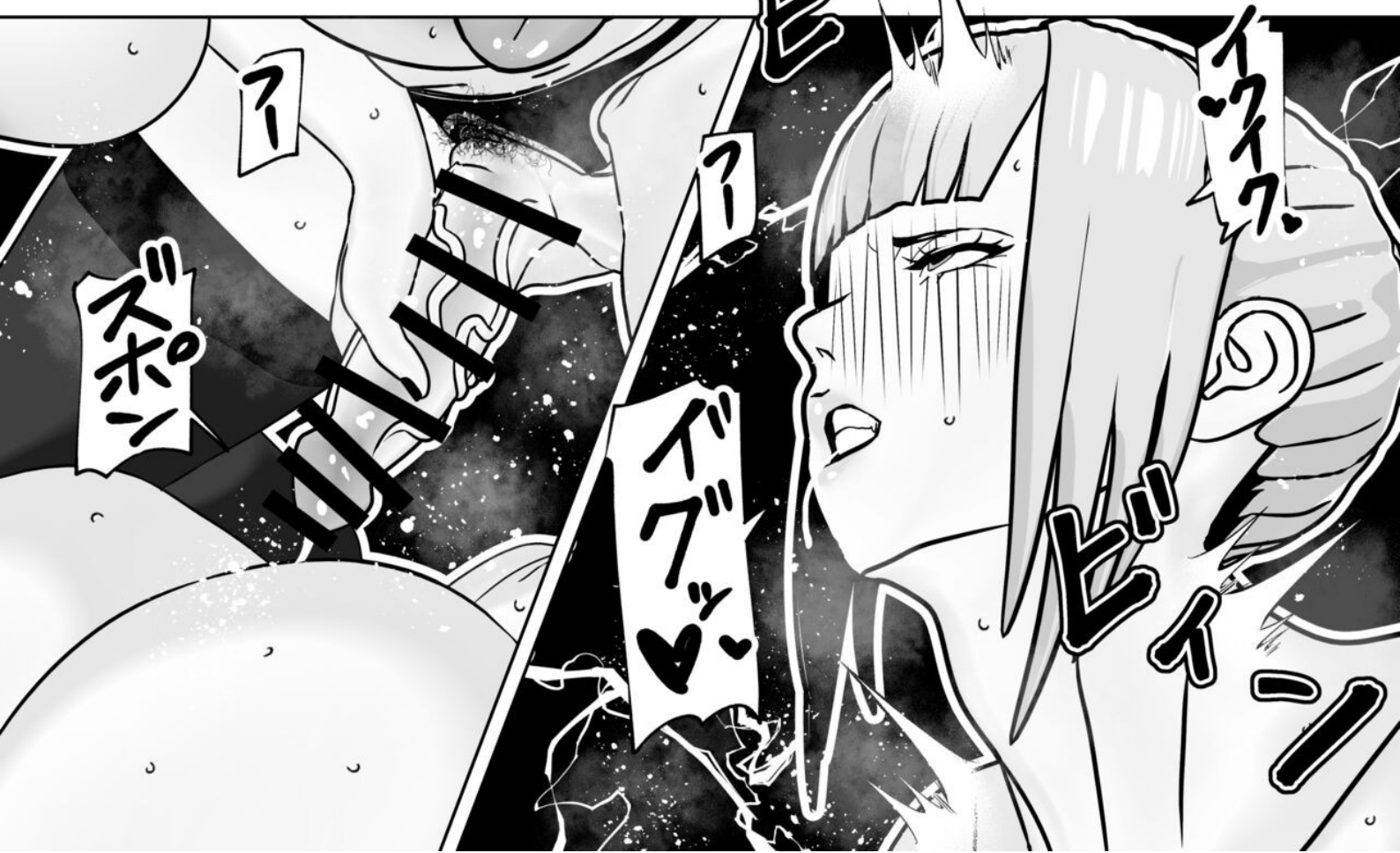
お嬢 ♡

ハッ

ハッ

ハッ

バチ
バチ ♡



ズボン

イググ ♡ ♡

ヒッ

イググ

ア

ア

ン



フヒッポッポッ

おっ♡



ハイ

申し訳ありません…
ただただ己の欲望を
満たすためだけに
独りよがりな腰使いを…



ああ…恥ずかしい…
二発目にも関わらず
こんな量を…

ヒッヒッ



ハイ

ハイ

いいやこれでいい…
ありのままの君が
見たいんだ



ハイ

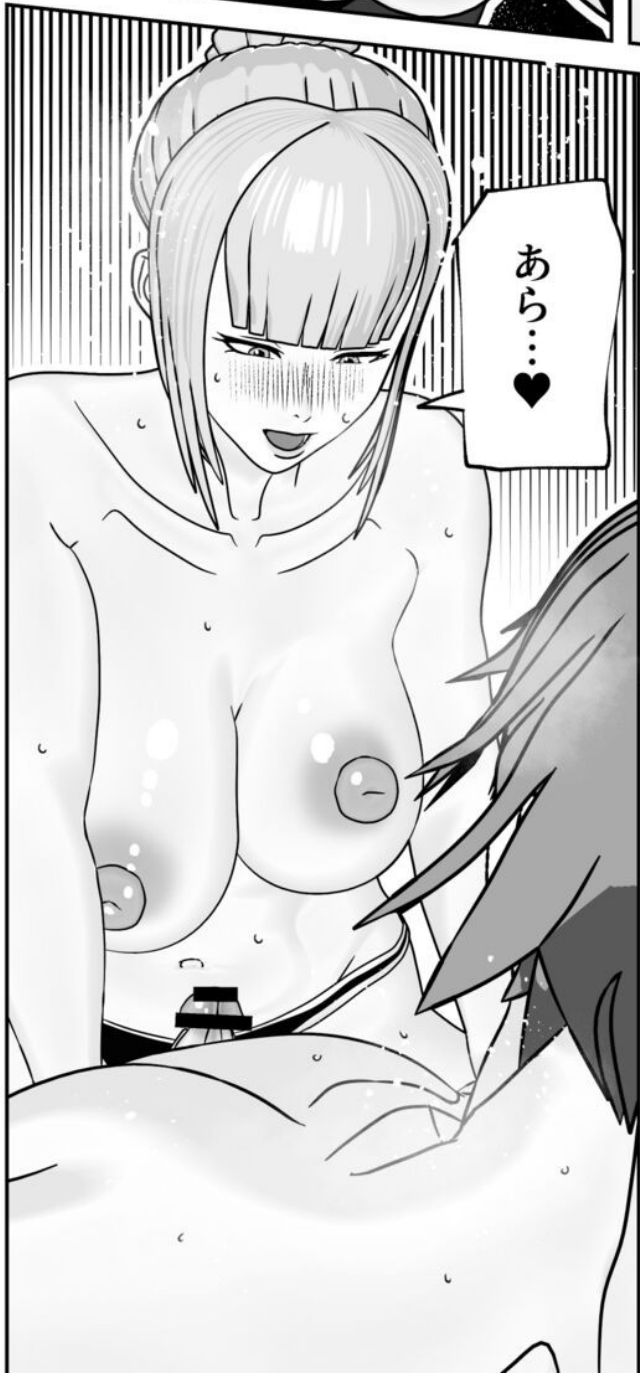


また私めの愚根が
熱を帯びて
しまいます♥



俺にしか見せない
君の欲望を
ぶつけてくれ…

ああ…ダメです
ダメです…
そんなお言葉…



あら…♥



いいさロフイーネ…
君が満足するまで…
いくらでも

ユーガス様…♥

ユーガス様のおちんぼ様も…
こんなにも怒張されて…♥

クリン

こんなモノ見せられたら…
私のメスの部分も疼いてしまいます…♥

ロ、ロフィーネ…
しかし…

ええ、承知してます…
今はまだ旅の途中…
私めが孕むわけには
行きません

いずれ使命を終えたときには…
たっぷりと可愛がって
くださいませ…

…その時が
来るまでは…

ヌブ

…私が可愛がって
差し上げます…♥

ハア



バス

たぐさんっ♡

たぐさんっ♡

ハッ

たぐさんっ♡

ハッ

ハッ

ドム

うぎんっ

バム

ドチミン
バチミン

種付け
しますよっ♡

ひっ♡



フッ

ハッ

フッ

パン

あうんぐっ

ハッ

バッ

ハッ

パン

フッ

ハッ

ハッ

ひゃっ

パン

グッ

ハッ

ハッ

イクッ

おあ

根本までズツポリ…
啜えこんじゃってます♡

うふふ…♡

グッ

パン

いずれ貴方様が魔羅を
突き立てる立場に
なりますのよっ♡

ハ

女に尻を掘られて
悦んでいるなんてっ♡

ハ

グチュ♡
グチュ♡

ドキ♡
ドキ♡

ほお♡
ほお♡

うあ♡
あ♡

フ♡
フ♡

セセセ



ああ、
無様無様っ♡

イクイク♡

んざっ♡

無様♡

フホっ

無様♡

ん

ん

フホっ

フホっ

ん♡

ユーガス様っ
無様すぎますっ♡

一体何度メスイキ
されました？

ビクン

アアア♡

んんん

ビクン

ん♡



こんなお姿見て
良いのは私だけですっ♡

ズッ

ん♡

ズッ

ハチ♡ハチ♡

ハ

ハ

ああ♡

ゴハ♡

ホ♡

ズッ

貴方様は私だけの
モノですっ♡

ズッ





ハイ

ハッ
ス

ユ
カ
ス
様

ハッ
キョ

ユ
カ
ス
様

ロ
フ
ィ
ネ

ハッ
キョ

ロ
フ
ィ
ネ

ハッ
キョ

ユ
カ
ス
様

ハイ

また...
イクッ

私モ

私モ

ハッ
ク

ハイ

ハッ
キョ

ハイ



愛してますっ
ユーガス様あ！

んおっ♡

うおん♡

ズビ

ドホホ♡

ハハ♡

ハハ

ハハ

ハハ

